

2024年10月13日(日)

開場 13:00 / 開演 13:30 (15:30 終演予定)

大田区民ホール・アプリコ 大ホール

ナレーション◆遠野そよぎ



オータムリリーフ  
管弦楽団  
第19回  
定期演奏会

## 第1部 .....

### Girl meets Love

花咲ワークスプリング! (SAGA PLANETS)

作曲・山口朗彦 編曲・でここ

### ランピン'

Quartet! (Littlewitch)

作曲・細井そうし 編曲・橘橙香

### せかいにさよなら

ユメミルクスリ (rúf)

作曲・Funczion 編曲・橘橙香

### 花詞

痕—きずあと— (Leaf)

作曲・Kushiko 編曲・みー♪

### escape

白話草話—Episode of the Clovers— (Littlewitch)

作曲・Tatsuo Kimura、河辺健宏 編曲・はなもん

### アスタロア

Summer Pockets REFLECTION BLUE (Key)

作曲・折戸伸治、水月陵 編曲・くらり

## 第2部 .....

### ヴァイオリン協奏曲 ～想いのカナタ～

夏空カナタ (ゆずソフト)

作曲・Famishin & Saki 編曲・はるうみしのぶ

### Asphodelus

穢翼のユースティア (オーガスト)

作曲・小高光太郎 編曲・みー♪

### 生きとし生けるもの ～万華鏡変奏曲～

美少女万華鏡 (ω star)

作曲・盛合千鶴子、むによっ / 秋山裕和

編曲・みー♪

### FAVORITE Symphony ～ 20th anniversary ～

作曲・CAY(Femme Fatale)、Wacha、石倉誉之、菊地創  
小高光太郎、忍、新垣トシオ、野崎心平、矢野達也  
編曲・てば

## ごあいさつ

19……。人を集め、曲を編み、時間をかけて演奏を練り上げ、ようやく本番を迎える演奏会はどれも大変で、大切に、光り輝く記憶であり、それは第1回であろうと第19回であろうと等しく尊いものであります。ましてや世界的疫病の蔓延を経て、演奏会を開催出



## 遠野そよぎ ♪ ナレーション ♪

はじめまして、遠野そよぎと申します。

声優を少々嗜んでおります。

もしかしたらどこかの美少女ゲームでcvとして聞いたことがあるかもしれません。

本日は、オータムリーフ管弦楽団第19回定期演奏会に影ながら声を添えさせていただくことができ、とても嬉しく思います。皆さまの美少女ゲーム生活において音にまつわる思い出のひとつとなる、そんな演奏のひとつを楽しみにしています。

終演後はうっかり未プレイだった作品をポチっちゃうもよし、積みゲを崩すのもよし、ですね。



## みー♪ ♪ 指揮 ♪

今年も指揮・音楽監督役を務めさせていただいております。

当団には第6期(2010年)にホルン奏者として入団しましたが、第7期からはピアノと編曲、第14期からは指揮も担当するようになり、そうこうしてるうちにホルンパートからは除名されてしまいました。解せぬ。

世界初演曲、それも編曲者達が変態趣向を凝らした譜面が多い楽団なので、演奏をまとめるのは大変ですが、本日のために準備を重ねてきました。ご堪能いただければ幸いです。

……え、私の譜面が一番変態？ 誰ですかそんなこと言ってるのは？

来ることが如何に奇跡的なことかを知った私たちと皆さんにとっては、演奏会の一つ一つがこの上ない記憶になります。……なりますが、どうにも19という数字は、特徴に欠けますな。美少女ゲームを取り巻くものにおいて重要な意味を持つ18と、かつては成人を意味しおおよその制限が解かれる20という、2つの意味深い数字に挟まれた19というのは、厳しい立場と言わざるをえないところがあります。19に意味を

持たせたい。ここは我々らしく美少女ゲームに意味を求めますと、19はドイツ語でノインツェーンと読みまして、知る人ぞ知るサイバーパンクADVの登場人物になります。本日はオータムリーフ管弦楽団の第19回定期演奏会にお越し頂き誠にありがとうございます。言葉よりも記憶よりもこの手が覚える程練習を積んだ私たちの演奏を、本日はゆっくりとお楽しみください。  
団長・春雨



# 解説

## Girl meets Love

さぁ行こう！ 最高！

『花咲ワークスプリング！』を語るには、この曲は避けて通れないでしょう。

ゲームの雰囲気ぴったりの、とにかく元気いっばいの曲です！

サビのホイッスルがいい味を出していると思います。

せっかくのツインボーカルということで、原曲のパート分けを意識してアレンジしてみました。

「あっちも」「そっちも」聴こえてくる感じを楽しんでいただけたら幸いです。

花咲ワークスプリング！ / SAGA PLANETS

幽霊部、

それは未練のある人のみが入ることを許される部活。主人公・花咲遊真は突如としてこの部の部長に任命される。怠惰に生き



ることをモットーとする彼であったが、部活のために奔走し、個性豊かな部員たちとともに騒がしくも慎ましい、そして楽しい学園生活を送ることになる。

部員それぞれがどのような未練を持っているのかはわからない。この集まりは逃避や傷の舐め合いなのかもしれない。それでも皆が前を向いて生きていけるように、幽霊部は存在している。



## ランピン'

何もないところでつまずきそうな、元気いっばいのシャルロット。すまし顔でいたずらを企むユニ。そんなみんなを見守る淑花。そんな彼女らのカルテットの雰囲気が伝わるように、主題歌《ランピン'》にそれぞれのテーマを織り込みました。

自分を変えるためには自分から踏み出さなければな

りません。《ランピン'》はその勇気をくれる曲だと思います。

Quartet! / Littlewitch

とあるきっかけ

で名門音楽院に招聘された、ヴァイオリン製作家の卵・主人公のフィル。彼の使命は退学した生徒に代わって四重奏に加わり、卒業試験に合格す



ること。カルテットのメンバーは、かつて神童と呼ばれた少女、姉妹でヴァイオリンを始めたがいつしかヴィオラに持ち替えた双子の姉、謎の黒服が送り迎える寡黙な東洋人の眼鏡っ娘、と一癖も二癖もありそうな子揃い。それぞれが抱える事情——トラウマ・不安・夢と希望、そして一見華々しい音楽の世界とその裏の厳しい現実。それらが交錯しながら物語は進み……。果たしてフィルを迎えた新生カルテットで、彼女達は無事に卒業試験に合格することができるのか。



## せかいにさよなら

現実と夢の境界は曖昧で、人はそれに気を留めることもない。地表から 3mm の地点で淡々と流れる日常は、しかし事実と交差することは決してなく、その現実を補強し続ける。ついに現実を問うた時、果たして彼／女の姿は既にない。

《せかいにさよなら》は地表から 3mm 位の所に浮かびながら、背中の方を見据えて全力疾走する、とても前向きな歌です。折り重なりハレーションを起こすよ



うな和音と、脇を滑り抜けていく旋律。それを伝える事が出来たのならば、重畳の限りです。

ユメミルクスリ / ruf

勉強も遊びも何事

もそつなくこなし、うまく<sup>①</sup>その他大勢、の一人として、のらりくらりと暮らす。そんなただただ退屈な日常を送っていた主人公は、ある時3人の風変わりな少女たちと出会う。

クラス内でいじめられている転校生。凛々しく、一見欠点のないように見える生徒会長。街中に出没する自称妖精。「彼女たちと関わってはならない。<sup>②</sup>普通、の日常を続けたいのなら。」彼の本能はそう警告するが、彼はこれまでの無色な人生に別れを告げ、一步を踏み出すことを決める。踏み出す足先は、無色からサイケな色合いへと色づき満ちていく。



## 花詞

『痕』では、ひとつの事件を端緒として、4姉妹の一人ひとりをヒロインとする、ジャンルの異なる4つの物語が展開されます。

本演奏会の《花詞》はこれになぞらえ、4つの管楽器（フルート、オーボエ、クラリネット、ホルン）を主役とした編曲になっています。これらは発音機構が全て異なり、音色もそれぞれ大きく違います。

どこまでも澄んだ音色で同じ旋律を繰り返すフルート。郷愁を誘う音色で全体の拠り所となるオーボエ。柔らかい音色で幅広く皆を支えるクラリネット。温かみがある音色で時には力強さも見せるホルン。どの楽器がどのヒロインに対応しているか、想像してみると楽しいかもしれません。

曲の構成としては3つの部分に分かれています。原曲の展開をなぞる、温かみのある呈示部。カノン形式になっている、冷たく硬質な中間部。和声的な変化を加えた、感動的な再現部。同じメロディーの表情の違いにもご注目ください。



痕一きずあと一 / Leaf

別居していた父の葬儀に参列するため、父の郷里・<sup>なかもやま</sup>隆山を訪れた主人公・<sup>かしわぎこういち</sup>柏木耕一。彼は四十九日までのあいだ、父とともに

に暮らしていた従姉妹の4姉妹の家に滞在することとなった。穏やかに流れる日常、しかしその平穏は長く続かなかった。突然見始めた奇妙な夢、それは見知らぬ部屋で人を襲おうとする衝動に必死に耐えるものだった。日ごとにリアルになる夢、そしてついに耕一は夢の中で人を惨殺してしまう。翌朝のニュースで報じられる殺人事件。あれは夢の中の出来事ではなかったのか？ 耕一は本当に人を殺してしまったのか？

柏木家の血の秘密と、前世の記憶が絡み合いながら、物語は進んでいく。



## escape

アニメを観る際、オープニングやエンディングをスキップする方と毎回観る方に分けられると思いますが、皆様はどちらでしょうか。私は後者のタイプで、映像や楽曲に変化がなくとも一応観るようにしています。決して映像の変化や、歌が1番ではなく2番になっていることを見逃してしまった経験を悔いているわけではありません。本当です。

さて、本作品は第一話、第二話とストーリーの区切りを設けており、始まりにはオープニング、終わりにはエンディングが流れるため、さながらアニメを見ているような気分で楽しめます。一話毎に流れる楽曲に変化がなくとも、シナリオが進むにつれ楽曲の表情やプレイヤーの捉え方は変わっていくのかもしれない。

「エクストラ」という存在の力強さの中に、彼女たちの様々な感情を織り交ぜた演奏をお届けします。

白話草語—Episode of the Clovers— / Littlewitch

「エクストラ」、それは人間にはない24対目の遺伝子と、人を超えた能力を持つ人造人間。キラタ製薬という企業を隠れ蓑に、超法規的な活動を行う謎の組織「古痕」。

そのプロジェクトの1つである「エクストラ」の開発者である主人公・<sup>つなかわそうじ</sup>津名川宗慈は、自身も「オリジン」と呼ばれ



る古代文明の知識の断片を持つ、特別な存在だった……。

これは自らの出自も曖昧な孤児の津名川と、彼が生み出した3つの生命=エクストラを巡る物語である！（情操教育を理由に、研究所の財産である筈のエクストラ達を自宅に住ませている津名川氏はララやまけしからん公私混同だと思います）



## アスタロア

『Summer Pockets』について考えるうえで、郷愁は欠かせないキーワードのひとつだと思います。多くのプレイヤーが、鳥暮らしの経験が一切ないにもかかわらず、サマボケの物語に、主人公たちの冒険に、そして何よりも鳥白島の風景に、ノスタルジーを覚えたのではないのでしょうか。少なくとも私はそうでした。

『Summer Pockets REFLECTION BLUE』の主題歌《アスタロア》も、どこことなくノスタルジックな響きを持っている気がします。それをオーケストラで表現するなら、郷愁を全面に押し出しているこうと、原曲よりもゆったりしたテンポで、あたかも交響曲の緩徐楽章のように仕立てました。メロディーを情感たっぷりに歌い、それを伴奏や対旋律が優しく支えるという、オーケストラの得意分野です。さらに、よりノスタルジーさを際立たせようと、中間部には《夏の砂時計》を据えました。

鳥白島の空の色を、潮の香りを、島で過ごした夏の日を、思い出させるような音楽をお届けできたらと思います。

Summer Pockets REFLECTION BLUE / key

どんな時も——夏の青さを、覚えていた。

主人公・鷹原羽依里は、亡くなった祖母の遺品整理のため、夏休みに単身鳥白島を訪れる。島を訪れたのはいいもの



の、羽依里を島に呼んだ当人である叔母は遺品整理をさせず島を探索するよう促す。そこで羽依里は、道端で寝ている少女、いつでもスーツケースを引いてい

る少女、鉄塔から水鉄砲を撃ってくる少女、道端で倒れている少女、親戚の子で朝食（なぜか毎日チャーハン）を作ってくれる少女などとの出会いを通して、どこか懐かしさを感じる夏休みを過ごしてゆく。



## ヴァイオリン協奏曲～想いのカナタ～

「協奏曲」……ざっくりと説明すると、ソロ楽器とオーケストラが互いに協調しながら演奏される曲のことを指します。但し、本編曲では複数楽章ではなく単一楽章であるなど、古典的なクラシックの定義に当てはまらない、割と自由な構成で纏めました。

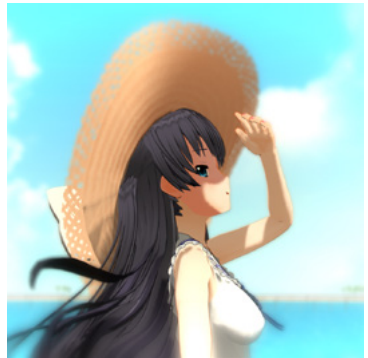
基本的には原曲をなぞる形で編曲を進めましたが、ソロ楽器であるヴァイオリンの魅力を最大限に引き立てるために必要な解釈変更、フレーズの調整は行っております。その点は原曲重視な方もご了承くださいませと幸いです。

また、パーカッションには今回無理を言って、普段は当楽団で使用しない楽器「カホン」を指定させてもらいました。ドラムのようなリズム楽器ですが、音色はかなり異なりますので、この辺りの違いも楽しんでいただけたらと思います。

ぜひ、田舎のような大きな青空、雄大な大地を想像しながらお聴きください。

夏空カナタ / ゆずソフト

あの冬、真夏のような島で少年「朝倉壮太」と少女「上坂茅羽耶」は出会った。トラブルはありつつも2人は仲を深め、3日目の夕方キスをして別れる。だが翌日、少女は少年のことを全て忘れていた。実は少女は記憶を3日間しか維持できず、出会う前の状態に戻ってしまったのである。少年が何をしても少女は全てを忘れてしまう。絶望の中、少年は彼女の記憶に真正面から立ち向かうことを決意する。そして触れる島の秘密と、少女の秘密。全てを知った二人が選んだ道とは——？





## Asphodelus

ハ短調。第一主題の再現を欠くソナタ形式。原作のドラマチックな展開を念頭に置きつつ、クラシカルな様式に則り統制されたアレンジとなっています。

Aメロ冒頭の細かく動く旋律（第一主題）には羽を持つ少女・ティアを、サビ冒頭の大きな跳躍から始まる旋律（第二主題）には主人公・カイムを象徴させており、2人の軌跡に沿うように楽曲は進行します。原曲通りに展開する呈示部では、ティアの旋律はか細く、優しく歌われる一方、カイムの旋律は力強く響きます。このとき、ハ短調であるティアの旋律に対し、カイムの旋律は最も遠い嬰ハ短調であり、2人の価値観の隔たりを感じさせます。

展開部においては、二転三転する状況が頻繁な転調や曲調の変化で表現されます。カイムが彷徨の果てにティアと生きる道を選び、2つの旋律が重なるようになったところで、曲は再現部に突入します。再現部ではティアの旋律が欠落しており、カイムの旋律だけがハ短調で演奏され、ティアのいない世界で一人、ティアの望んだ未来を歩むカイムの姿が描かれます。

コーダ（終結部）では二長調で両旋律が重ね合わさっており、ティアとカイムがもたらした新世界を高らかに讃えて、曲は幕を閉じます。

### 穢翼のユースティア / オーガスト

混沌に飲み込まれた大地より逃れるため浮上した都市「ノーヴァス・アイテル」は、聖女の力により数百年浮遊している。あるとき大崩落「グラン・フォルテ」が発生し都市の一部が大地へ崩落、そこに住む人々と喪失する。同時に、崩落は免れたものの地盤沈下により都市から隔絶された区域ができてしまい、都市からの支援がなく見放されたその区域は殺人や強盗が常態化する無法地帯と化した。



た。人々はそこを牢獄と呼ぶ。

主人公は牢獄の娼館街にて、何でも屋として日々の糧を得て酒場「ヴィノレタ」でひっかけ、変わりのない日々を送ってい

た。あるとき仕事で羽を持つ少女と出会ったことで、彼の運命は大きく変わる。大崩落はなぜ起きたのか、羽を持つ少女は何者なのか。ここから物語は動き出す。



## 生きとし生けるもの ～万華鏡変奏曲～

万華鏡。その筒の中身は変わらずとも、組み合わせあって切り取られた世界は覗くたびに色彩を変え、しかしそのいずれもが美しい。

連作短編であり、それぞれ全く異なる舞台上で展開されていく『美少女万華鏡』の世界。今回はその在り方をイメージして、それぞれ全く異なる音楽ジャンルで展開される《生きとし生けるもの》と《美少女迷宮》を繋ぎ合わせ、一つの作品として仕上げました。

大きく移り変わっていく世界の中で、変わらずにあり続ける美しいもの。それは愛か、それとも……

### 美少女万華鏡 / w star

怪奇作家の青年・深見夏彦は、山奥の旅館で座敷童子のような少女・蓮華<sup>れんげ</sup>と出会う。彼女の持つ不思議な万華鏡は、妖しく幻想的な愛の物語を垣間見せる。



——孤高な吸血鬼の少女に一目惚れし、無理にでも関係を築こうとする変態音楽教師——

——2年前に「いなくなった」幼馴染との再会をきっかけに、夢のように楽しい日常を取り戻した不登校の少年——

——荒廃したポストアポカリプスの世界で、精巧なアンドロイドの少女2人と暮らし始める自称マッドサイエンティスト——

——愛する双子の姉に唆されて女学園に転入することになった、愛憎渦巻く特異な家庭で育った弟——

人間関係に不器用な彼らは、歪んだ愛に溺れ、物語は流転してゆく。

一方、旅館に通い詰めていた深見は、近くの女学院を舞台にした怪事件を蓮華とともに調査することになり、同時に、自身が「ずっと捜していたもの」と向き合っていく。

## FAVORITE Symphony ~ 20th anniversary ~

### 第1楽章 さくら、もゆ、幕開けの刻。

……。

夢を、見ている。

夢を、抱いている。

夢を、追いかけている……。

そこは、暗くて明るい世界だった。

昔よく聴いていた懐かしい音楽が街角で流れている。

俺は、何かに導かれるように、ふらふらと歩いていた。

「お客さん、どちらまで？」

カチン。カチン。突然、改札錠を小気味よく鳴らして、駅員の制服を着た猫が尋ねてくる。

周囲を見渡すと、そこは寂れた駅舎の中だった。いつの間にこんな所にいたのだろう。

「おや、これは失礼。切符はすでにお持ちでしたね」

切符……？そう言われて見てみると、僕の手は一枚の短冊を握りしめている。

「さあ、あと少しで発車しますから。乗り遅れないように」

改札をくぐると、列車の汽笛が響く。

ふと、ちりん、という鈴の音が聞こえ振り返ると、人見知りの猫がこちらを見ていた気がした。

優しい彼女に後押しされるように、列車へ乗り込む。

車内で待っていると、後から賑やかな一行が乗車してきた。

ヴァイオリン、大道芸、バレエ、裁縫、そして魔法……。

彼女たちはそれぞれ特技を持っているようで、乗客たちに披露している。

魔法使いの少女が見せてくれた小さな奇跡は、観客の心に寄り添い、そっと勇気付けていた。

発車のベルが鳴る。いま、幕開けの刻。

これは、あなたの人生のための物語——。

### 第2楽章 ゆきの円舞曲

しばらく停車するというので降り立った途中駅には、雪が降っていた。

しかし、どういう訳か寒くもなく、降り続いても雪が積もる気配は一向にない。

駅舎を出てみると、この街のシンボルである時計台から鐘の音が鳴り響く。

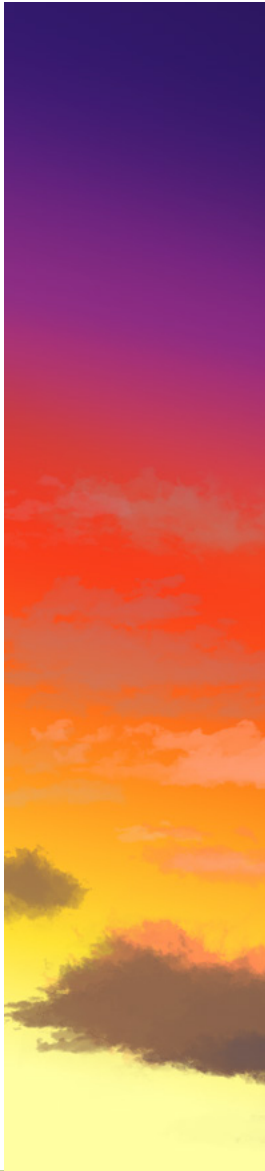
時計台の前には白髪の少女が二人。

舞い散る雪にあわせて踊る幼い少女と、それを見守る車いすに乗った少女。

一人で雪と戯れる妖精は、けれど、大好きな誰かと一緒に遊ぶことを待ちわびているようだった。

風の冬が過ぎ、剣の冬が過ぎ。

そしてついに、狼の冬が始まる——。





### 第3楽章 紅い瞳に映る風景

次に訪れた途中駅は、海沿いにあるのどかな街だった。  
立派な灯台が、遙か水平線の彼方を見守っている。  
そこには、大きな古書店があり、藍色の瞳をした少女が店主をしていた。  
書棚を見ると、色とりどりの本が並べられている。  
店主はお茶目にウインクをすると、お勧めだと言って題名がない本を一冊手渡し  
てきた。  
そっと開くと、そこでは紅い瞳をした少女が幸せそうに笑っている。  
ああ、きっとこれが、新しいセカイを開く笑顔の魔法——。



#### 第4楽章 展望台への坂道

どうやらここが、終着駅らしい。  
目の前に続くのは見覚えのある坂道。  
この先に何かあるのか、知っている。  
ああ、そうだ。俺は彼女が好きだった。  
一歩ずつ、坂道を歩いて展望台に辿り着く。  
果たしてそこには彼女が待っていた。  
「おひさしぶり、洋くん」  
「これで、やっと私も務めが果たせるわ」  
キラリ。  
少女の持つ死神のカマが、振り上げられた。

#### 第5楽章 星空の夜の夢

俺は、何か大切なものを失ってしまった。  
握りしめていた短冊にも、今はもう何も書かれていない。  
でも、この展望台のある街でなら、きっと約束を果たせるだろう。  
空を見上げれば、天の川と夏の大三角が輝いていた。  
さて、これが現実の出来事ではないということは、薄々気が付いていた。  
その証拠に、坂を下りると全く知らない光景が広がっている。  
そこには魔法魔術学院があり、今日は「魔女の祝祭」なのだそうだ。  
もしかしたら、心優しい魔法使いがずっと夢を見せてくれたのかもしれない。  
それでも、夢が覚めた後も、この想いが消えることはない。  
これは星空に託されたおとぎばなし。  
星空に夢を願って――。



#### あとがき

FAVORITE 様が制作するゲームはみな、どこか幻想的で優しい世界観、魅力的なキャラクターとシナリオ、そして何より、クリエイターの方々の「美少女ゲームが大好き、という気持ちがユーザーの心を打つ素晴らしい作品達で、私が最も好きなブランドさんです。10年前にこの楽団に入った時から「いつか FAVORITE ゲーム楽曲でメドレーを演奏してみたい」というのがまさしく私の夢でした。本演奏会はその夢が実現するだけでなく、何と声優の遠野そよぎさんに司会としていらしていただけることになりました。しかも今年は FAVORITE 発足 20 周年、『星空のメモリア』発売 15 周年、『アストラエアの白き永遠』発売 10 周年、『さくら、もゆ。』発売 5 周年のメモリアルイヤーです。ああ、幸せすぎて演奏会の翌日に私は死ぬのではないのでしょうか。

今回は自ら組曲を編曲するにあたり、そのコンセプトとなった物語をショートストーリーで書き起こし、楽曲解説としてパンフレットに載せています。拙い部分も多いかと思いますが、私が貰った「美少女ゲームが大好き、という気持ちを、少しでも原作やファンの皆さんにお返しすることが出来たら嬉しいです。

(文責：てば／イラスト：紗々)

## パート紹介

今回の演奏会の見どころは？

### ヴァイオリン

ヴァイオリンパートの聴きどころは《ランピン'》冒頭にある、1st ヴァイオリンと2nd ヴァイオリンが掛け合いをする箇所です。初めに1st ヴァイオリンが動き2nd ヴァイオリンへ音を引き渡し、その後も1stを立てるように演奏をするさまは、まるでフィルがシャルを支えているかのようです。どうぞ2人の場面を思い出しながらお聴きください。

### ヴィオラ

ヴィオラの聴きどころとはすなわちメロディではありません。内声のうねうねした動きだったリシンコペーション、裏打ちといった、他のパートがあまりやらないところに真価があります。今回の演奏会では《アスタロア》と《FAVORITE Symphony》の編曲者がどちらもヴィオラ奏者なので、特にこれらの曲で「これぞヴィオラ」といった動きが見られることをご期待ください。


### チェロ

《ランピン'》の中盤、冒頭と同じメロディののち、チェロ単独のメロディが始まります。ここではテンポが少しだけゆっくりになり、原曲ではボーカルの歌いだしで始まるテーマを、人の声に近いと言われるチェロの深みのある穏やかな音色で奏でます。チェロのメロディにコーラスパートが入ってきて、ファゴットがユニゾンし、徐々に盛り上がっていく様を存分にお楽しみください。

### コントラバス

好きな曲でもいざ自分が弾くとなるとそうも言ってもらえないのはまあある事ですが、今回お届けする《FAVORITE Symphony》は正にそんな曲です。変拍子もさる事ながら、主旋律専門のヴァイオリンから伴奏専門の我々までをも含む弦楽器総出により奏でられる、早いテンポでの3オクターブユニゾンは、当団でも類を見ない、正に「聴きどころ」。奏者の余裕のない表情と一緒に楽しみ下さい。





## フルート

オーケストラの花形（諸説あります）たるフルートの聴きどころはやはりソロ。《花詞》ではサビの旋律を時に無垢に時に儂げに繰り返し演奏し、ラストでは弦楽器が奏でる同旋律に乗せて華やかで切ないアドリブ風ソロを聴かせます。そしてもう1曲、《せかいにさよなら》ではサイケデリックな曲調の中、フラッタータンギングで始まる当団レパートリー屈指の格好いいソロを演奏します。鋭さを帯びたクールな音色をお楽しみください。



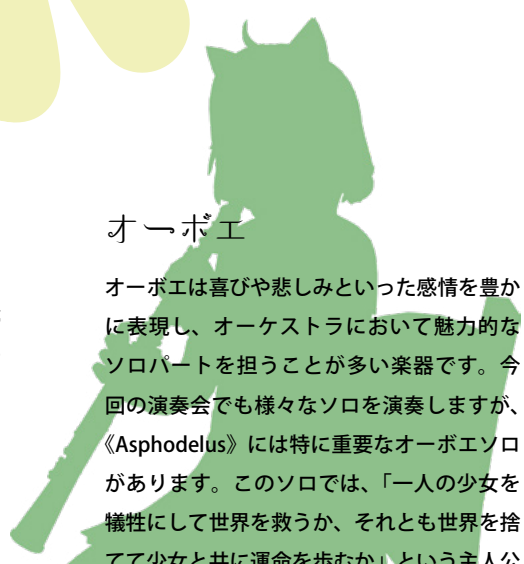
## クラリネット

4オクターブ近くの広い音域（奏者の腕による）と、速いパッセージも難なくこなす機動力（奏者の腕による）を備えるクラリネット族、今期はB♭ソプラノとB♭バスが登場しています。ソプラノは《花詞》では広い音域を活かして、時には輝かしい高音、時には響きに厚みを与える低音を。バスは《せかいにさよなら》で機動力を活かして、ベースラインに疾走感を演出しています。



## バスーン

バスーンはよく通る音ではないですが、おどけたような、または優しく切ないような多面的特徴のある魅力的な音色を持った楽器です。単独でのそれはもちろんのこと、他の楽器の音に添えた際にもバスーンの色が発揮されます。例えば《アスタロア》の序盤は弦楽器と木管楽器からなる静かな曲調となりますが、その中でそっと支えるように現れるバスーンによる味付けにご注目ください。




## オーボエ

オーボエは喜びや悲しみといった感情を豊かに表現し、オーケストラにおいて魅力的なソロパートを担うことが多い楽器です。今回の演奏会でも様々なソロを演奏しますが、《Asphodelus》には特に重要なオーボエソロがあります。このソロでは、「一人の少女を犠牲にして世界を救うか、それとも世界を捨てて少女と共に運命を歩むか」という主人公の葛藤が表現されます。揺れ動く主人公の気持ちを思い浮かべて聴いてください。



## サクソフォーン

通常の管弦楽団ではたまにしか出番のないサクソですが、当団では今期も高音域のソプラノから低音域のバリトンまで4種類のサクソが活躍します。《Asphodelus》をはじめ、それぞれが奏でる音色に耳を傾けてみてください。また《せかいにさよなら》にはソロがあります。最初は一人で途中からは二人で奏でるソロをお聞きください。再演曲だけでなく新曲にも見せ場は色々ありますのでお楽しみに。



## ホルン

《花詞》の1番のサビでは、木管とピアノがメロディを受け持つ中、ホルンが対旋律を奏でます。この対旋律はフレーズが長く、息を持たせるのがとても大変なのですが、ホルン吹きなら誰でもよだれが出てしまうくらい、おいしい役割なのは間違いありません。メロディとどのような絡み方をするのか、ぜひ耳を傾けてみてください。

## トランペット

今回再演となる《Asphodelus》ですが、トランペットパートにとっては耐久試験のような立ち位置の曲となっています。中間部、変拍子が続く中での中高音域の長いフレーズの後には低音域での主旋律、最後にはオクターブ跳躍のフレーズ9連発が待ち受けています。練習時は毎回酸欠と戦っていますが、当日には克服できているのでしょうか。お楽しみに！

## パーカッション

パーカッションの聴きどころ……というよりも見どころはなんといっても登場する楽器の豊富さです。我が楽団は原曲にあるあんな音やこんな音を忠実に再現するため、他の演奏会ではお目にかかれないような多様な楽器を総動員しています。今回の演奏会でも、我が楽団では初登場となる楽器がいくつもあります。どの楽器からどんな音が鳴るのか、是非ともステージの上を、目を凝らして見てみてください。

## トロンボーン

魔法、のような音を聴かせることがあります。トロンボーンは管を伸ばしただけ物語が待っています。私たちはこの煌めくレールに音を走らせ想うだけの音色を響かせ、レール上には幾千もの歌声が軌跡を描く。これは一人よりも、二人のほうが楽しい、もっと集まってボカボカすればこの心は更に満たされるのです。そんなトロンボーン同士、さらにはもっと多くで作り上げていく魔法、をぜひお楽しみください。

## チューバ

今回、チューバには珍しい対旋律があります。《想いのカナタ》でソロ・ヴァイオリンがヒィヒィ頑張っているところ。ゆったりと回る白い風車のように吹き……たいけど音が高いんだよなあ。必死感が出ないように頑張ります。とある曲（演奏会当日まではヒ・ミ・ツ♡）ではチューバの本職であるリズムを必死に刻みますのでこちらは必死感にご注目ください。

# Quartett!

とわたし 道産子

## ◆祝 20 周年

『Quartett!』は 2004 年の 4 月に発売され、今年で 20 周年を迎えました。当時生まれた赤ちゃんがもう成人を迎えているかと思うと、感無量ですね (汗)

## ◆それは一目惚れから始まった

私がチェロを始めたのは、この『Quartett!』がきっかけでした。このジャンルのゲームは学生時代から好きで、寡黙な眼鏡女子のヒロイン・李淑花<sup>リスツファ</sup>に一目惚れしたからというのもあったのですが、サントラを聴いているうちにそれまで全然興味も所縁もなかったクラシック・弦楽器が気になり始め、元より音楽を聴くのは好きで自分でも楽器を弾いてみたいという気持ちがあったのも相まって、衝動でチェロを買ってしまったのでした。

## ◆オーケストラとの出会い

楽器教室に通い、発表会や弦楽アンサンブルを経験して 3 年が過ぎたある日、楽器店で見かけたチラシの「美少女ゲーム音楽演奏会」という文言に「これはもう入団するしかない！」と運命すら感じてオータムリーフ管弦楽団の門を叩きます。オーケストラと言えば人数がたくさんいるイメージがあり「その腕前ではちょっと……」と言われやしないかと g k b r しながら見学に行ったのはここだけの秘密です (団員には私の様に楽器自体を大人になってから始めた人もいますので「気になるけどオーケストラは経験ないから」と二の足を踏んでいる方がいらっしやいましたらお気軽に見学へお越し下さい! )。

## ◆2 年目の転機、2 度目の衝動買い

こうしてオーケストラの練習と美少女ゲームに明け暮れるようになって迎えた 2 回目の演奏会で、終演後にお客さんのアンケートを読んでいたら「演奏会で奏者がいないのに、パンフレットの表紙がコントラバスw」というものを見かけ、元よりジャズが好きでコントラバスにも興味があったこともあり「オーケストラに所属している今こそやってみる絶好の機会！」とまたしても楽器を衝動買い。メロディーから伴奏までこなすチェロとは対照的に伴奏専門の楽器ですが、

始めてみるとその重低音とベースラインの魅力にはまり、気が付けばチェロより長い期間をコントラバス奏者として過ごしています。

## ◆「ゲームで人生狂わされ変わりました」

実は憧れてチェロを始めた筈の<sup>カルテット</sup>弦楽四重奏をまだやったことがなかったり、オーケストラで『Quartett!』の主題歌を演奏する機会に恵まれたその時は既に楽器をコントラバスに持ち替えていたり「最初の志はどうした?!」と突っ込まれてしまいそうな今現在の私ですが、ゲームがきっかけで今でも音楽を趣味として続けている訳で、数年前から嵌っている『カスタムオーダーメイド 3D2』の嫁イドの造形がどこか淑花似であることを考えても、『Quartett!』は私にとって人生を変えた作品だったと、詰まるところ「人生の大切なことは全て美少女ゲームから学んだ」と言っても過言では

……ないことはなくもないかも知れません……よね?





## お願い

- ・ 入場にはこのパンフレットが必要です。忘れずにお持ちください。
- ・ 会場に有料の駐車場はありますが、台数に限りがあるため公共交通機関の利用をおすすめします。
- ・ 近隣住民の方の迷惑にならないよう、会場周辺ではお静かにお願いします。
- ・ ゴミはお持ち帰りください。
- ・ ホール内は飲食禁止、禁煙です。施設指定の場所をご利用ください。
- ・ 本公演の録音、撮影はお断りいたします。
- ・ 演奏中のホール内への入退場はご遠慮ください。
- ・ その他、会場内では係員の指示に従って頂きますよう、お願いいたします。

## 会場アクセス

大田区民ホール・アプリコ（大ホール）

JR 京浜東北線蒲田駅・東急蒲田駅東口から徒歩約 3 分



オータムリーフ管弦楽団第 19 回定期演奏会（2024 年 10 月 13 日）

表紙イラスト・もず

本文イラスト・紗々、シン、そふと、道産子、モモキ、にょん

デザイン・橘橙香

編集・橘橙香、道産子、てば、いぬあり、にょん

企画・オータムリーフ管弦楽団



曲目

Girl meets Love

ランピン'

せかいにさよなら

花詞

escape

アスタロア

ヴァイオリン協奏曲 ～想いのカナタ～

Asphodelus

生きとし生けるもの ～万華鏡変奏曲～

FAVORITE Symphony ～ 20th anniversary ～

